

平成 30 年度  
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会  
障害者支援施設 鹿島療育園

## I 基本理念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

## II 平成30年度基本方針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

## III 平成30年度事業目標

### 1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護。
- ② 入所待機者の確保。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。

### 2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
  - ・利用者に寄り添い、相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
  - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
  - ・職員間の連携を図り、安心・安全な支援を提供する。

### 3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。

### 4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。
- ④ 情報管理の徹底に努める。

### 5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)。

## IV 概要

平成 30 年度は、花木庭会の法人運営においては、評議員会は 3 回開催され、決算報告、事業計画、収支予算など 7 議案について審議がなされた。

理事会は 4 回開催され、浴室増築工事の設計監理の契約、賞与引当金の計上、規程の改正など 21 議案について審議がなされた。

監事會は 5 月に定例監査が実施された。また、評議員会、理事会への出席のほか、10 月に実施された佐賀県実地指導及び鹿島市指導監査に同席された。

施設・設備の整備では、パソコン 10 台の更新や、低床型走行リフター 1 台を購入した。

また、来年度着工に向けて浴室増築工事の設計業務の委託を行った。

職員配置の状況では、年間の平均配置数が、46.3 人と前年度より 1 人の増加となったものの、生活支援員は、育児休業や退職等により、平均配置職員数は 28.1 人となった。勤務年数が 3 年以下の職員が 8 人と依然として、経験の浅い職員が多い構成であった。また、看護師は 4 人体制でスタートしたものの中年内の退職が重なり年度末では 2 人となった。いずれの職種も、全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

利用者へのよりよいサービスを提供するためには、職員の資質の向上が欠かせないものとなるため、施設内研修を定期的に開催してきた。施設外での研修会には職員配置の関係上参加できないときもあったが、できる限り参加させスキルの向上に努めてきた。

職員の腰痛を防止するため、居室で使用するリフターを 2 台から 3 台へと増台した。また、数年前からスライディングボードを導入し、抱える負担を軽減できるようになっていたが、今年度からは、さらに体位変換をしやすいスライディングシートやスライディンググローブを導入し職員の負担軽減に努めた。

### 1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。利用者は重度化の傾向にあるため、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

個別支援計画におけるサービス提供は、月ごとの実績表や中間評価表で、計画のモニタリングを行い、サービスの質の向上に努めた。

入所待機者の確保については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努め、年度末での待機者は 1 人増の 15 人となった。

入所利用者は、今年度の退所者 5 人については補充の受け入れを行わなかった。これは、生活支援員の不足に伴い、利用者への支援に支障をきたさないための措置であり、年度末での人員は 46 人となった。

### 2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、指定特定計画相談事業を実施してきた。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、平成 30 年度中に、サービス等利用計画は入所者 15 件、在宅者 30 件の合計 45 件であり、その内、新規での利用計画策定は 3 件

であった。障害種別では身体障害者 26 人、知的障害者 1 人、精神障害者 18 人であった。

また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は 88 件で前年度より 13 件の減少となった。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

### 3 生活支援

延べ利用者数は 17,013 人で前年度の 18,102 人から大幅に減少した。

これは、生活支援員の不足により利用者へのサービスの低下が生じないよう年度内に減少した利用者の補充を行わなかったため、年度末では 46 人となり、稼働率は 89.6% となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上ののみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つかれば振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図っている。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在 5 人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を超えた支援を提供していきたい。

### 4 生活介護（日中のみ）

年間を通じて利用者の変動はなく、年間の延べ利用者数は 734 人で前年度とほぼ同様となり、一日当たりの利用者数の平均は、2.7 人となり、定員 4 人での稼働率は 68.2% となった。

通所利用者の支援においては、入所利用者とほぼ同じ条件のもとで支援を展開し、ご本人、ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

### 5 短期入所

利用契約者は 6 人であったが、実利用者は 5 人にとどまった。年間の延べ利用者数は 205 人と前年度の 304 人から大きく減少した。これは、家族の冠婚葬祭や介護者の負担軽減等を目的とした利用が主となって短期間での利用となり、全体での利用日数も少なくなった。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

### 6 機能回復訓練

現状の身体機能、生活能力を維持し日常の生活を営むための訓練として、医師及び作業療法士の指示を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、訓練の継続により日常生活がより豊かなものになるように取り組んでいる。

訓練の実施状況は、職員数が少ないときでもグループを小規模化することや、居室にて行事により、訓練が実施できるような環境を確保するように努めた。

今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

## 7 サークル活動

### ○ 手芸サークル

外部講師による押し花を年9回、手芸を年3回実施した。

押し花は毎回15人程の参加がある。

重度化により参加者の自立度が低くなってくる中で、体調を考慮し、講師や職員の介助を受けつつ四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、園内での展示や作品展への出展も行ってきた。

手芸については、手持ちのスキルスクリーンや共同作品としてのスキルスクリーンの制作に取り組まれた。3、4人のほぼ固定した利用者の方が参加されているが、通所利用者の参加もあり余暇時間の充実に取り組むことができた。

### ○ 音楽・カラオケサークル

月1回の外部講師による音楽サークルでは、四季をテーマとした曲や利用者が希望する曲をピアノで演奏してもらい、合唱による楽しい時間を過ごされ、歌うことの楽しさを感じられている。毎回20人程の利用者が参加されている。

カラオケサークルは月に2回の活動であり、歌う事が好きな利用者の参加で、通所利用者の参加もあり、毎回18人程の利用者が参加されている。

好きな歌を歌ったり、他の利用者の歌に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりするなど和やかな雰囲気の中で実施できている。

### ○ 囲碁・将棋サークル

毎月1回地域ボランティアの方達により活動が行われている。興味のある利用者に限定されているため参加者は限られるものの、通所利用者や短期入所利用の方にも参加の声掛けを行い、囲碁や将棋ができない利用者でも「はさみ将棋」等に参加したり見学したりして、楽しい時間を過ごされている。

### ○ 園芸サークル

運動広場周辺の花壇は、参加利用者は少ないが、車椅子での作業ができるように高めになっているため、興味のある利用者が一緒に花や球根の植え込みや除草等にも参加され、「癒しの場」の提供に取り組むことができた。四季折々の花が園庭を散歩される利用者や来園者の目を楽しませてくれている。

また、広場横の畑では、小松菜、水菜等の種まき・収穫を行い、給食の献立に取り入れ利用者の皆さんに食べていただいた。

天候の影響や業務の都合によりサークル活動予定日に実施できない時は、業務の調整を図りながら実施した。

### ○ 生活サークル

ゲームやレクリエーション、歌、習字、絵、朗読等毎回違った内容で実施した。

毎回17人程の利用者が参加されている。年々、意欲的に参加される利用者が少なくなっているが、参加された利用者からは「楽しかったよ」の声も聞かれる。

習字、絵等の作品や季節感を取り入れた共同作品については廊下に掲示し、来園者に鑑賞していただいている。12月の忘年会の出し物には、楽しく参加されている利用者が多く、衣装を着て歌の披露を行った。

利用者間での交流や職員との関わりの中での会話を楽しみながら、サークル活動が進められた。

### ○ 編集サークル

年4回発行している「はなこば新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、ボランティアとの交流の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。より良い「はなこば新聞」になるよう、担当職員や利用者が役割分担しコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

### ○ レクリエーション・余暇活動

レクリエーションは、3か月ごと(5月・8月・11月・2月)に実施し、毎回18人程の利用者が参加された。クイズや体操・ゲームなど様々な内容で、普段出さないような大きな声を出したり、体を動かしたりされ楽しんで参加されている様子が伺えた。集団で取り組むことで利用者間の交流に繋がっている。

障害に応じた活動内容を計画することで、職員も障害を把握した知識、技術、進行の話術を学ぶことができ、スキルアップにも繋がっている。

参加利用者数は昨年とそれほど変わらないが、多くの利用者に参加してもらえるように事前に参加への働きかけをしていきたい。

余暇活動は、2か月毎(偶数月)に実施し、園の行事のビデオや映画のDVD鑑賞などを行ってきた。毎回20人前後の利用者が参加されている。

### ○ フラワーアレンジを楽しむ会

元職員3人のボランティアで、年3回(4月・6月・12月)のフラワーアレンジを実施し毎回20人前後の利用者が参加された。

花材は購入品の他、当園の花壇から摘んだ花や、講師や職員の持ち寄りの協力もあって、参加利用者の自由な作品制作の後押しをしている。参加されている利用者の方達も講師が元職員ということで、会話もはずみ、次回の開催を心待ちにされていた。

今後も元職員の協力を得ながら、利用者に楽しい時間を探していきたい。

## 8 苦情相談

苦情は、毎月行われている利用者懇談会で5件、随時の申し出が2件で合わせて7件となった。内容別では、職員の配慮不足など職員に関することが5件、利用者間の対人トラブルによる利用者に関することが1件、設備の不良による施設に関することが1件であった。

苦情については、概ねその場で回答し、検討が必要なものについては翌月の利用者懇談会において回答を行った。

今後も苦情について傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、更なる相談サービス提供者としての職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員の支援も必要と思われる。

## 9 医療

利用者の入院は、延べ人員32人で延入院日数は758日を数えた。実入院人員は21人と同じ利用者の繰り返しの入院も多く見られた。入院期間は、1ヶ月以内の入院が7割以上を占めているが、継続した医療が必要となる利用者2人が退所となった。

通院は、年間で899人となった。そのうち、訪問歯科が338人。内科、外科、泌尿器科等の通院に多大の時間を要している状況であり、既往歴で再発する病名では、肺、肝臓、腎臓疾患が多く、骨折などもあった。また、精神疾患による通院者は10人を数え、うち3人は医療保護入院となった。

12月から2月までの期間を感染症予防対策期間として取り組み、手洗い・消毒・換気・加湿

を行い、利用者は外出時、職員は勤務時にマスクの着用を行った。なお、3月に入りてもインフルエンザ等の感染症が流行していたため、3月中旬まで感染症予防対策期間を延長した。結果的に職員に数名のインフルエンザの発症者が出了るもの、利用者や他の職員への施設内での感染には至らずに治まることができた。

障害の重度化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早く、また、本人の訴えも乏しいこともあり、日頃の様子との比較や、健康チェックを行うことで、速やかに対応した。

協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院、志田病院へお願いすることが多いが、病院では、コミュニケーションがとりにくく、また、介護の度合いで通院治療となるケースも見受けられた。

今後も、嘱託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていきたい。

## 10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、医療・生活支援・給食が連携して一人ひとりに応じた食事形態で提供し、特に低栄養状態の方には栄養ケアマネジメントを策定し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態について、主食は、ご飯（普通）・二炊き・二炊きミキサー・全粥・全粥ミキサーの5段階とし、副食の切り方は、普通・小刻み・ミキサー食に分けて提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食に取り組み、利用者個々人の身体状況に合った食事内容で提供した。食事提供数は、全利用者合わせて、年間 51,488 食で、毎食の平均では 47.0 食となった。

嗜好調査は毎年行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで、満足度を上げ、食事摂取量向上につなげ、体力維持・機能低下防止に努めてきた。また、限られた予算内で季節の物を楽しんで食べてもらえるように、調理員と栄養士で工夫と改善を重ね研鑽を積んできた。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1年間を通じて「食中毒防止」、「ウイルスの感染予防」に努め、安全・安心に食事摂取してもらえる目標を達成できた。

## 11 防災

防災訓練は、職員が火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難ができるよう毎月 1 回実施してきた。夜間は勤務する職員が 3 人となり、特に職員間の連携が求められるため、より速やかで安全な避難誘導が実施できるよう、訓練を重ねてきた。年間で、夜間を想定しての訓練を 11 回実施し、1 回は昼間を想定しての訓練を行った。また、10 月には鹿島消防署、鹿島市消防団などの関係機関及び近隣地域の協力を受けながら総合防災訓練を実施した。

全職員を対象とした夜間の招集訓練は 9 月に実施した。電話連絡網及び一斉メールにて伝達し、訓練開始後 20 分以内に約半数にあたる 26 人が登園した。非常時に対する職員の行動力の把握に繋がる訓練であるため、今後も実施していくことが必要であると思われる。

利用者の方も年を重ねること等による身体機能の変化もみられ、重度化の傾向といえる。殆どの利用者が避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方であり、今年度実施した防災訓練での避難誘導時間は、平均で 14 分 15 秒を要した。車いすに移乗せずにベッドのままで避難する方が負担がからない利用者もあるため、利用者の状況に応じた誘導方法についても隨時検討していく必要がある。

## V 評議員会、理事会の開催状況

### <評議員会>

#### 第1回

開催日	平成30年06月13日
議案	平成29年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について

#### 第2回

開催日	平成30年09月26日
議案	平成30年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成30年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について

#### 第3回

開催日	平成31年03月27日
議案	平成30年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成30年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成31年度事業計画書(案)の承認について 平成31年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第1回

開催日	平成30年05月25日
議案	平成29年度事業報告書(案)の承認について 平成29年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 佐賀県指導監査、実地指導結果通知書の回答(案)の承認について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第2回

開催日	平成30年09月13日
議案	平成30年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成30年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園浴室増築工事の基本設計業務委託に係る随意契約(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

第3回

開催日	平成31年01月22日
議案	鹿島療育園浴室増築工事の実施設計及び監理業務委託に係る随意契約(案)の承認について 佐賀県実地指導結果通知書の回答(案)の承認について 鹿島市指導監査結果通知書の回答(案)の承認について

第4回

開催日	平成31年03月18日
議案	平成30年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成30年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 社会福祉法人花木庭会理事長専決規程の制定(案)の承認について 社会福祉法人花木庭会事務委任規程の制定(案)の承認について 文書規程等の改正(案)の承認について 平成31年度事業計画書(案)の承認について 平成31年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る随意契約(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

## VII 行事実績（平成30年度）

月　日	行　事　名	摘　要
4月 5日	桜の花見会	鹿島市（旭ヶ岡公園）
4月 24日～11月 20日	小グループ旅行	佐賀市 年5回
4月 26日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 20日	家族会総会	事業報告・計画等
5月 22日～9月 25日	日帰り旅行	佐賀市 年2回
6月 8日	地域との交流会	
6月 8日～11月 1日	能古見小学校（5年生）との交流会	概要説明、見学・歌、ボウリング等
6月 14日	鹿島市浜地区民生委員の施設見学	概要説明、見学
6月 27日	安全祈願祭	安全祈願
7月 17日	鹿島市七浦地区民生委員、区長の施設見学	概要説明、見学
8月 3日	介護者教室	介護の工夫 福祉用具や介助方法について
8月 9日～8月 16日	夏季帰省	帰省者9人
9月 6日	秋祭り	地域、家族等との交流
10月 3日～10月 12日	利用者健康診断	尿検査
10月 4日	園内運動会	家族、ボランティア参加
10月 13日	かしま福祉フェスタ2018	作品11点出展
10月 28日	三嶽神社獅子舞披露	
10月 30日	明倫小学校との交流会	踊り、合唱、ボウリング等
11月 1日	ことじ保育園との交流会	獅子舞・剣遣い
11月 2日	筒口一声浮立の披露	
11月 21日	能古見保育園との交流会	園児遊戯等
11月 28日	追悼会	物故者の供養
12月 6日	忘年会	
12月 15日～12月 24日	第18回佐賀県障害者文化芸術作品展	作品13点出展
12月 28日～1月 6日	冬季帰省	帰省者9人
1月 7日～1月 16日	初詣	鹿島市（祐徳稻荷神社）
1月 30日	福祉講演会	講演「障害者差別解消法について」
2月 18日	ボランティア団体等との交流会	鹿島療育園ボランティア実績・計画等
3月 28日	桜の花見会	車中見学

## VIII ボランティアの受入状況（平成30年度）

月　日	団　体　名	摘　要
随时（年9回）	囲碁将棋	囲碁将棋の対局
随时（年9回）	押し花	押し花の作製支援
随时（年5回）	鹿島市婦人ボランティア五五会	おむつ作り、行事協力
随时（年3回）	フラワーアレンジを楽しむ会	フラワーアレンジメント
随时（年3回）	鹿島PHP友の会	カラオケ披露、合唱等
随时（年2回）	太良高校生	コミュニケーション等
4月 12日	藤生会	踊り、写真撮影
4月 26日	らくの寿司	握り寿司の提供、歌の披露
5月 26日	釜山外国語大学校生	車椅子清掃、写真撮影
5月 31日～9月 27日	職員のボランティア活動	地域の清掃（除草作業・ゴミ拾い）
6月 4日	大正琴振興会（桜樹会）	大正琴演奏
7月 23日	楠風会さくら会	名前札作製
11月 4日	鹿島市視覚障害者福祉協会	マッサージ
11月 9日	にじいろラボ	演奏披露
11月 18日	コーラスグループ「ベイビー・ブー」	アカペラ、ボイスパーカッションの披露
3月 26日	らくの寿司	握り寿司の提供、歌の披露

## VIII 利用者の状況

### 【入所者】

#### (1) 出身地別利用状況(平成30年度)

区分	佐賀市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	玄海町	有田町	大町	江北町	白石町	太良町	大村市	波佐見町	合計
男	3人	0人	5人	6人	1人	5人 ①	1人	2人	1人	1人 ①	1人	1人 ①	1人	0人	28人 ③
女	0人	1人	2人	5人 ①	0人	4人	0人	1人	0人	1人	1人	2人 ①	0人	1人	18人 ②
計	3人	1人	7人	11人 ①	1人	9人 ①	1人	3人	1人	2人 ①	2人	3人 ②	1人	1人	46人 ⑤

※○印は退園者数

#### (2) 月別在園者の状況(平成30年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		51人	51人	51人	51人	50人	49人	49人	49人	47人	46人	46人	46人	
入園者数		0人	0人											
退園者数		0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	0人	5人
月末利用者数		51人	51人	51人	50人	49人	49人	49人	47人	46人	46人	46人	46人	

#### (3) 年齢構成表

平成31年3月31日現在

区分	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳以上	合計	最小	最高	平均
	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	69歳					
男	0人	0人	0人	3人	6人	8人	4人	7人	28人	44才	84才	63.0才
女	0人	0人	1人	2人	4人	4人	3人	4人	18人	34才	87才	61.8才
計	0人	0人	1人	5人	10人	12人	7人	11人	46人			62.5才

#### (4) 在所期間の状況

期間性別	1年未満 3年未満	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計	1人当たり 平均 在所期間
		\$	\$	\$	\$			
男	0人	3人	1人	8人	4人	12人	28人	15年 11月
女	0人	2人	3人	3人	3人	7人	18人	14年 3月
計	0人	5人	4人	11人	7人	19人	46人	15年 3月

(5) 障害原因別

障 害 原 因	事 故			疾 病			合 計 ① + ②	
	交 通 事 故	劳 働 灾 害	其 他 的 事 故	小 计 ①	先 天 性 の 疾 病	后 天 性 の 疾 病		
男	3	2	4	9	10	9	19	28
女	1	0	0	1	14	3	17	18
計	4	2	4	10	24	12	36	46

(6) 病症類別

属性	性 別	疾病・ 原疾患	主たる病症類・原疾患									
			脳	脊髓損傷	脊 髓	脳 血管 障 害	頭 部 外 傷	リ マ ウ マ チ 病	その他の 難 病	合 計		
頸 性 マ ヒ	胸 腰 髄 損 傷	小 計	マ ヒ	後 遺 症	後 遺 症	その他の 疾 病	合 計					
男性	男性	8	4	1	5	0	4	3	0	2	6	28
女性	女性	10	1	0	1	0	1	0	0	0	6	18
	合計	18	5	1	6	0	5	3	0	2	12	46
障 害 支 援 区 分	区分6	12	4	1	5	0	3	2	0	0	5	27
	区分5	4	0	0	0	0	0	1	0	2	7	14
	区分4	2	1	0	1	0	2	0	0	0	0	5
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	18	5	1	6	0	5	3	0	2	12	46

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区 分	鹿島市	白石町
男	3人	1人
女	1人	1人
計	4人	2人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区 分	鹿島市	江北町	白石町
男	3人	0人	0人
女	1人	1人	1人
計	4人	1人	1人

## IX 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食
	健康チェック
	整理整頓
	ラジオ体操
10:00	機能回復訓練
12:00	昼食
14:00	自由時間
	余暇利用
	入浴
17:15	夕食
	自由時間
	娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

## X 利用者の通院状況

	内 科	外 科	精 神 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	訪 問 歯 科	皮 膚 科	婦 人 科	泌 尿 器 科	そ の 他	計
4月	10人	12人	4人	0人	3人	0人	31人	8人	0人	9人	2人	79人
5月	11人	16人	6人	3人	2人	1人	50人	11人	0人	9人	1人	110人
6月	10人	14人	5人	2人	1人	4人	36人	7人	0人	7人	1人	87人
7月	5人	6人	5人	0人	2人	0人	14人	5人	0人	11人	5人	53人
8月	6人	10人	6人	3人	1人	5人	29人	3人	0人	11人	5人	79人
9月	3人	5人	3人	1人	3人	4人	25人	2人	0人	10人	10人	66人
10月	9人	14人	2人	2人	3人	8人	30人	3人	0人	13人	0人	84人
11月	18人	13人	2人	2人	0人	2人	20人	0人	0人	10人	0人	67人
12月	10人	10人	3人	3人	1人	0人	26人	0人	0人	11人	0人	64人
1月	8人	23人	1人	2人	0人	0人	31人	0人	0人	12人	2人	79人
2月	10人	17人	4人	3人	1人	0人	23人	1人	0人	11人	2人	72人
3月	9人	12人	3人	0人	1人	0人	23人	0人	0人	11人	0人	59人
計	109人	152人	44人	21人	18人	24人	338人	40人	0人	125人	28人	899人

## XI 苦情解決

苦情受付件数

	職員に關すること	利用者に關すること	施設に關すること	その他	計
30年 4月	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	1
6月	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0
8月	2	0	0	0	2
9月	0	0	0	0	0
10月	0	1	0	0	1
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
31年 1月	1	0	1	0	2
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
計	5	1	1	0	7

## XII 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。